

**かごしまSwitch
未来企画室**

**10時開始まで
少々お待ちください**

かごしまSwitch 未来企画室

(オリエンテーション)

未来づくりの

3つのポイント

一般社団法人鹿児島天文館総合研究所
Ten-Lab 理事長 永山由高

自己紹介

昭和58年7月 鹿児島県生まれ(35歳)

高校まで鹿児島で学び

大学で福岡へ(九州大学 法学部)

東京の投資銀行で金融業を経験。

(日本政策投資銀行 都市開発部 → 広島支店)

**リーマンショックがきっかけとなって鹿児島に戻り
地域のコミュニティ支援や、民間企業の経営支援を
手掛ける会社を創業、現在7年目です。**

妻ひとり。こども1人。

最近の趣味はエアギター(2017年全国ランク8位)

お仕事 ① 地域の人たちの活動支援



お仕事 ② 地域資源の商品化



お仕事 ③ 前向きな地域移住の推進



お仕事 ④ ラジオ番組 (MBCラジオ)



お仕事 ⑤ 企業の経営コンサルティング

企業理念

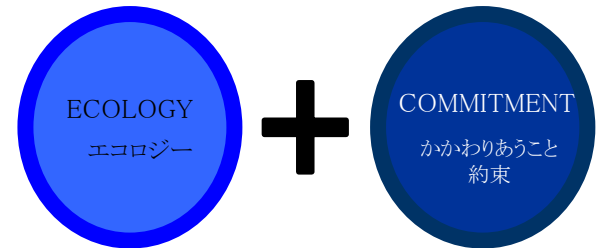
環境ビジネスに革新を、お客様に感動を、
そしてみんなが夢を叶える場所であり続ける。

私たちecommitは、一緒に働く家族（社員）の幸せと
本当に世の中の役に立つ環境ビジネスを追及します。



ecommit

商号 株式会社ecommit
所在地 〒899-1921鹿児島県薩摩川内市水引町2803
設立 平成19年8月17日
資本金 10,000,000円
営業所
・ 本社（鹿児島営業所）
・ 本社管理部・営業部
・ 北関東営業所
・ 東京営業所
・ 関西営業所
・ 福岡営業所
・ 串木野小売店舗
従業員数 105名



今日の構成

1. 未来を考える際に共有しておきたい背景

→ 人口推移、地域の状況共有

→ まちづくりにおける潮流

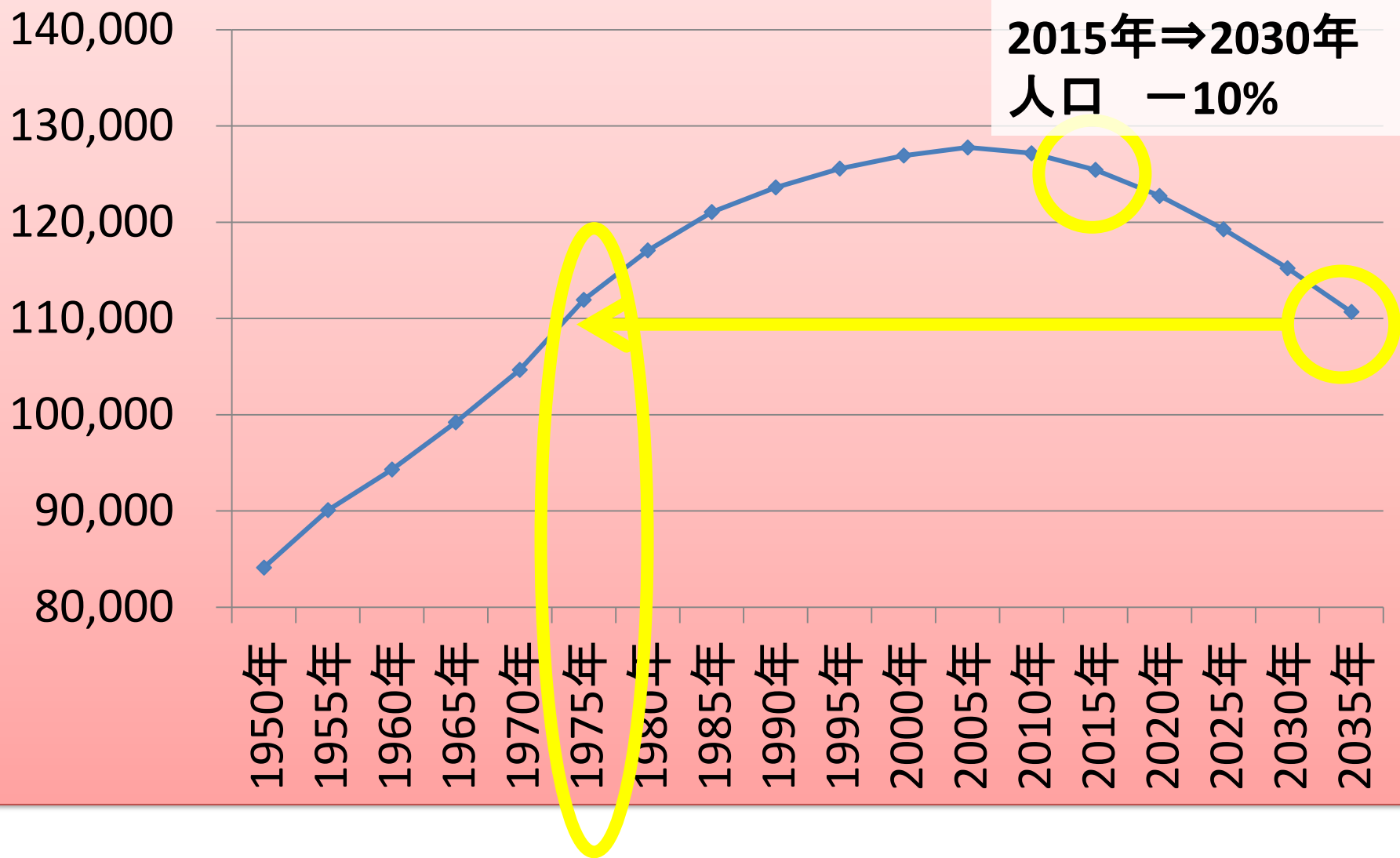
2. 事例のご紹介

→ 垂水と湯之元における取組

3. 意見交換

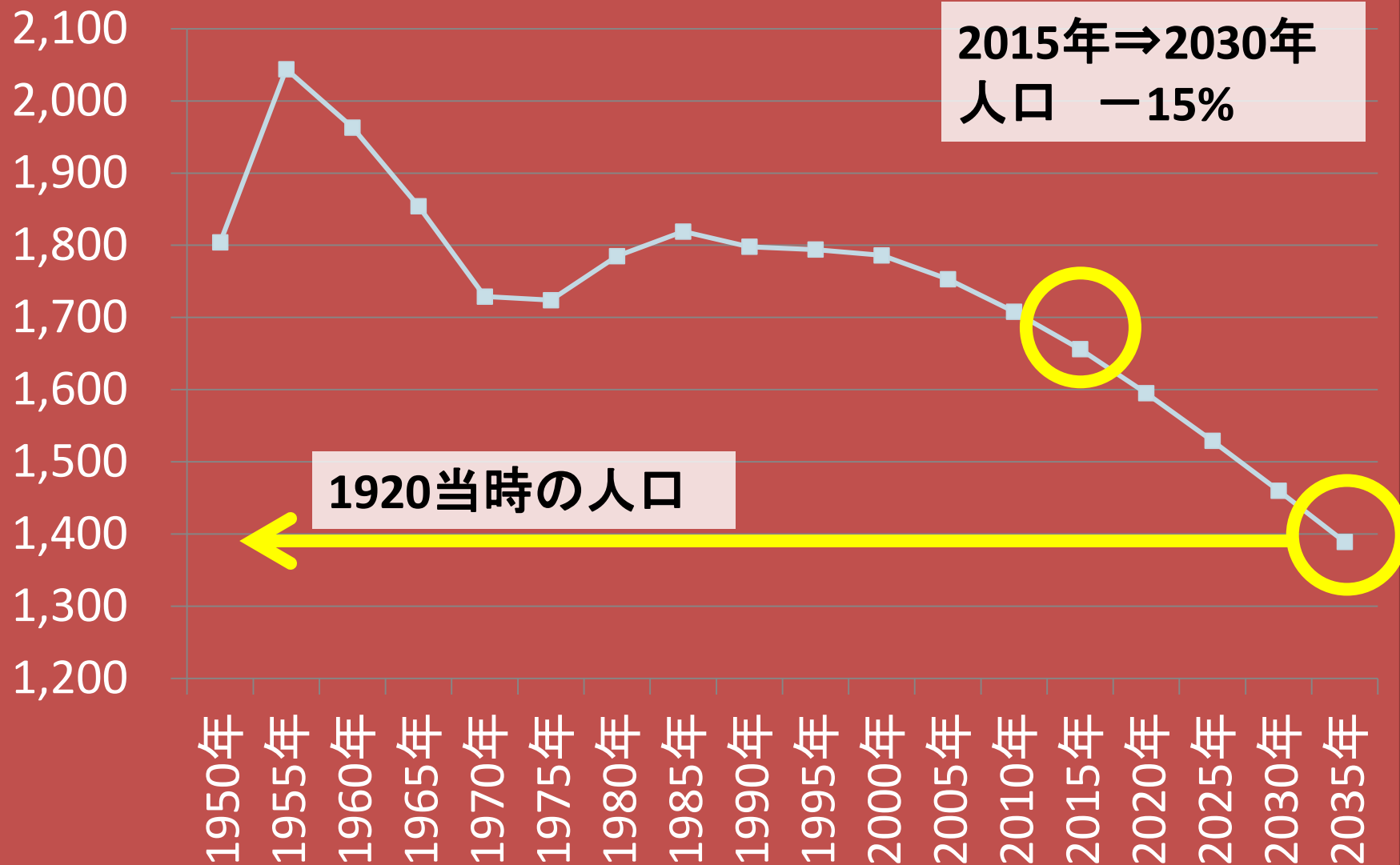
街の未来

日本総人口 推移



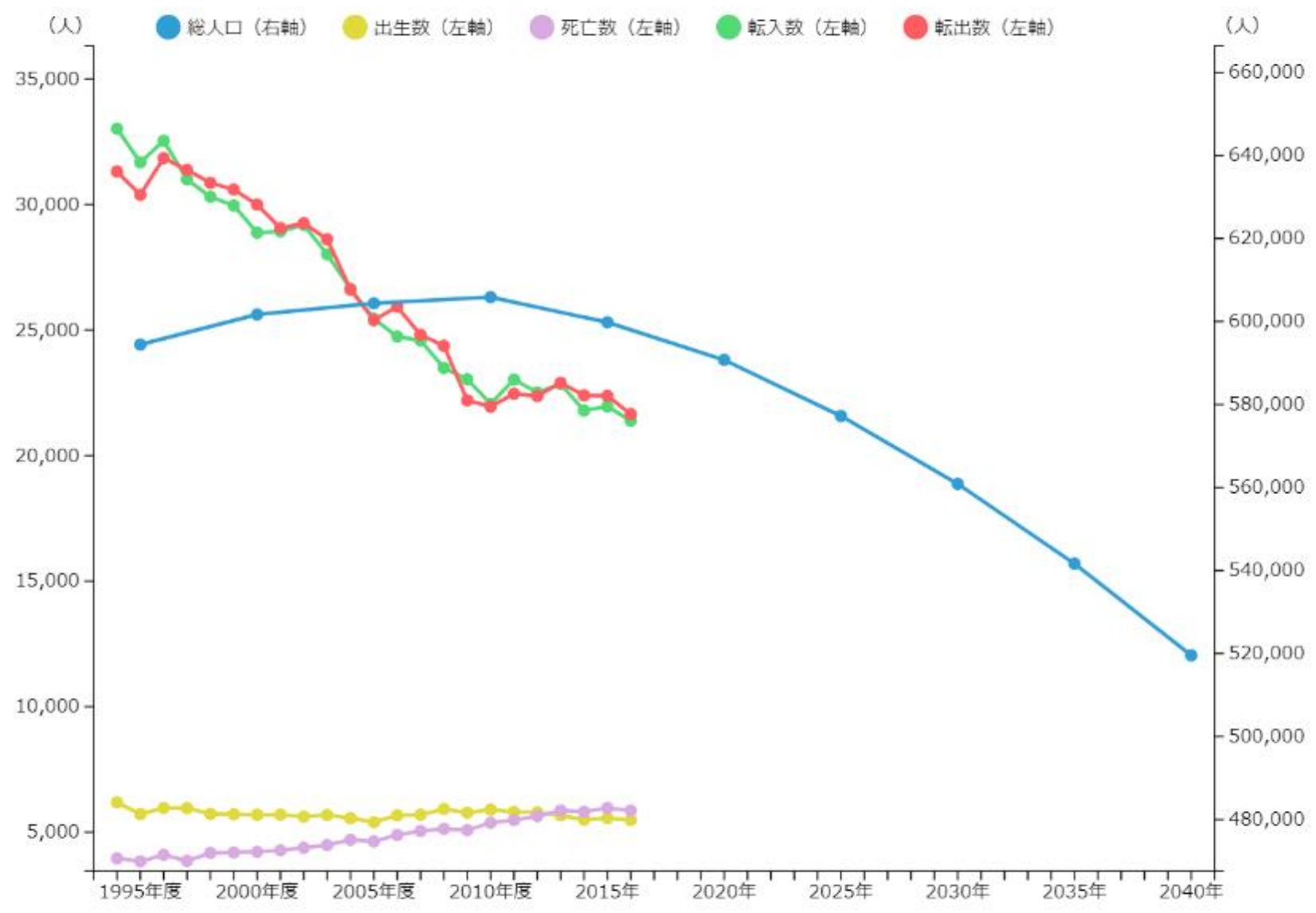
街の未来

鹿児島県 人口推移



【鹿児島市】

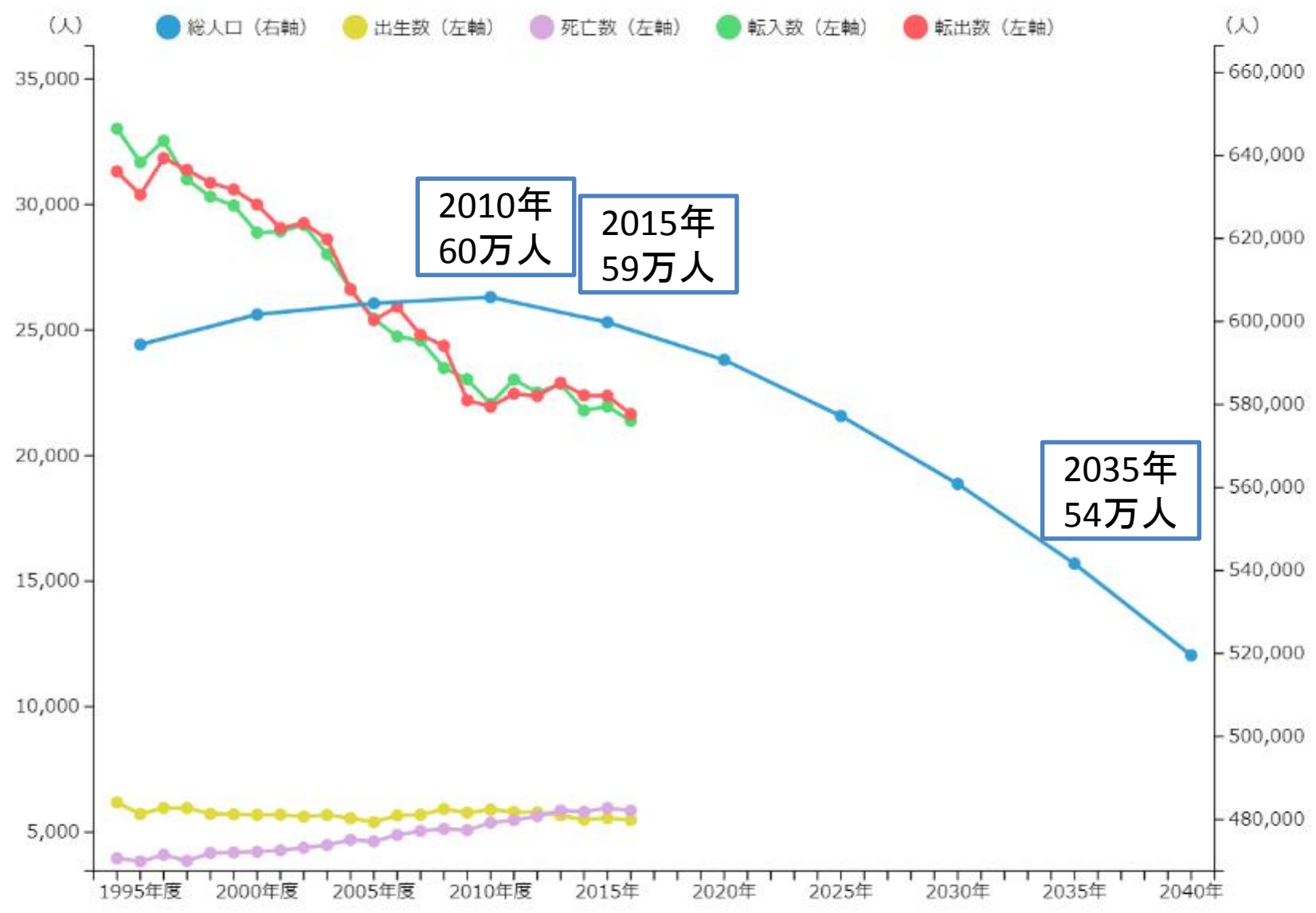
出生数・死亡数 / 転入数・転出数



実績値 ← 推計値 →

【鹿児島市】

出生数・死亡数 / 転入数・転出数



2010年
60万人

2015年
59万人

2035年
54万人

実績値 推計値

人口減社会を迎えるにあたって

●労働力の確保が難しい状況

➡採用ができずに倒産する時代の到来
(人を大切にしている組織が生き残る)

●税収の減少・・・行政の関与の限界

➡公的分野の役割再構成
(地域総合力の時代)

人口減社会を迎えるにあたって

●労働力の確保が難しい状況

➡採用ができずに倒産する時代の到来
(人を大切にしている組織が生き残る)

●税収の減少・・・行政の関与の限界

➡公的分野の役割再構成
(地域総合力の時代)

地域の課題

少子化

高齢化

行事の
人手不足

買い物
難民

後継者
不足

雇用
減少

環境
悪化

観光地化

獣害
対策

空き家
対策

教育
衰退

道路整備

独居
世帯対応

地域の課題

少子化

行事の
人手不足

買い物

地域の現状を自分達で把握し、
①ものごとに優先順位をつけて
②自分たちでやれることは自分達で
③最後に行政をうまく頼る

対策

工と家
対策

衣退

道路整備

独居
世帯対応

「自分たちでやれることは
自分たちでやる」

ためのヒント



垂水市 海潟地域



絶景・温泉・海水浴場 ⇒養殖の普及で激変



クリーニング屋 建設会社

漁協職員

肉屋



温泉旅館

漁師

ラーメン屋

市長

銀行員





垂水名産といえば、カンパチ



降灰で漁協は灰まみれ



High テンションツアー 灰 Tensuon Tour

High テンションツアー
灰 Tensuon Tour
スポーツ灰取り
スポイ灰!

苦しい灰取りを「競技（スポーツ）」として行う事で楽しい灰取りへ

<公式ルール>

- 3～5人チーム制
- 多くの灰を集めた
チームの勝利
- 制限時間は30分
- 使用道具指定
一輪車・スコップ
袋・チリトリ・ほうき
- 10分に1回の
灰タッチ！！！！



High Tension Tour スポ灰! スポーツ灰取り

苦しい灰取りを「競技（スポーツ）」として行う事で楽しい灰取りへ

参加人数 1チーム6人

計・距離・時間・対戦・対戦・対戦・対戦・対戦・対戦
(対戦・対戦・対戦・対戦・対戦・対戦)

大会ルール

- ・場所は指定された海浜エリア
- ・競技時間は6.0分
- ・集約する果物は車載可能
- ・走行は禁止
- ・他のチームと接触したら必ず「ジャンタッチ！」

参加料
1人 0000円
(込み)

審査方法

- ・審査員の見た目で判断された
量による点数
- ・段の置き方によるデザイン性
エリア内の奇雑さ

大会説明

初めて参加する方も安心して参加してください。
大会に大会費がかかりますが、大会費が200円です。大会費は大会終了後に入会費として
後に入会費がかかります。大会費は大会終了後に入会費として
大会費・大会費・大会費・大会費・大会費・大会費

雨天中止

平成
25年

月

日

垂水市海浜漁港

主催:海浜温泉再生会

後援

協賛

お問い合わせ:0994-





鹿屋体育大学 自転車競技部
30分 3名で真剣に灰を集めた結果
⇒？



鹿屋体育大学 自転車競技部
30分 3名で真剣に灰を集めた結果
⇒ **約90袋(900kg)**



1チーム3,000円の参加料収入
 3人1チーム×10チームで
 合計6tの灰を収集



⑤保護者と一緒に積もった灰を集める参加児童
 ⑥集めた灰の袋を前にする参加児童
 〓垂水市海潟

水・海潟

桜島の降灰除去をスポーツに。集めた灰の量を競う「第1回スホ灰」が17日、垂水市海潟の海潟漁港周辺で開かれた。垂水小児童と保護者ら約30人が参加し、「灰テンション」でユニークな競技に奮戦していた。

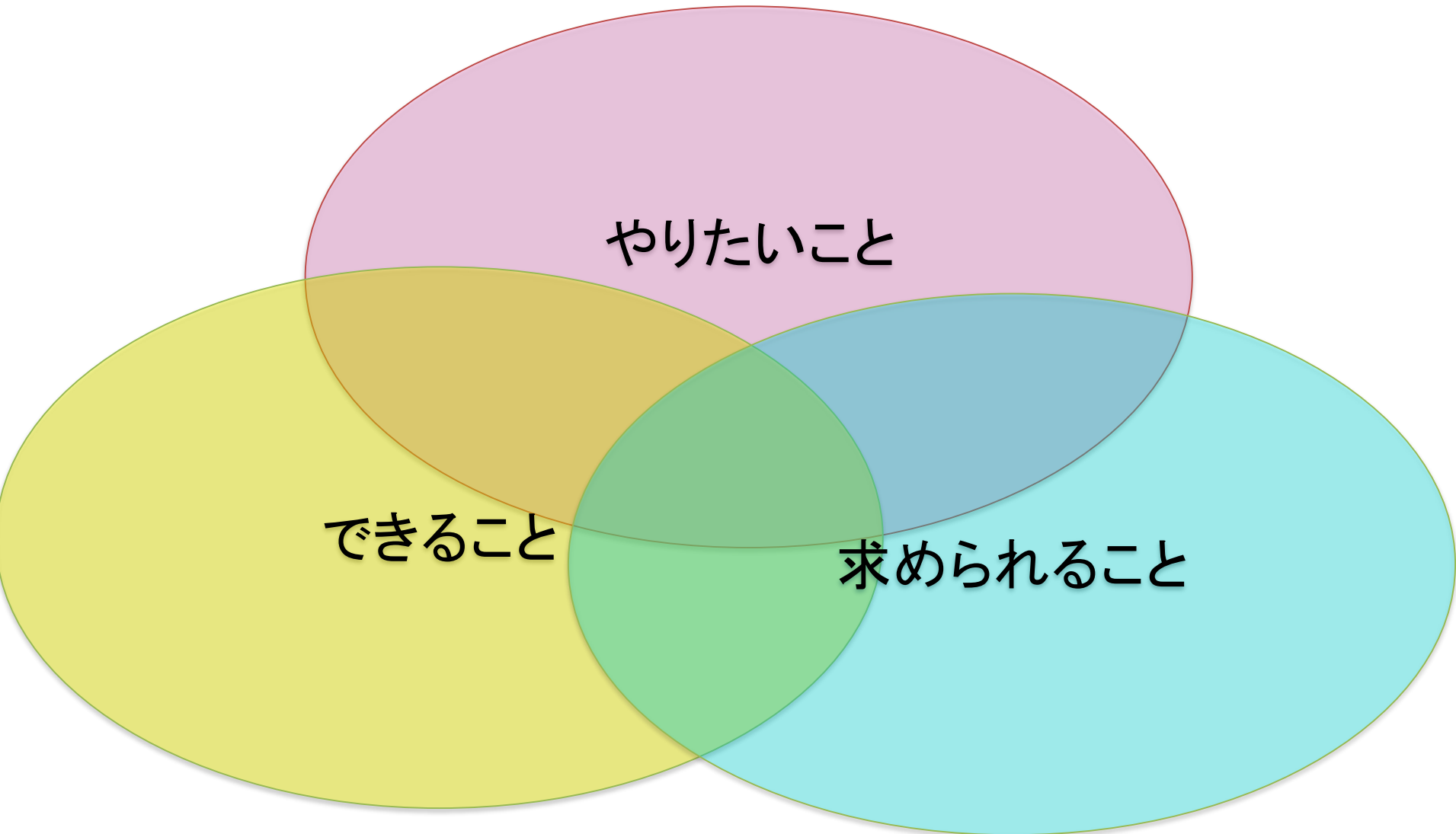
同市の市民団体「海潟温泉再生会」が主催。リーダーの和田将史さん(35)によると、最近の降灰増加で宿泊客が減ったとの声を聞き、灰集めで遊べないかと考案。降灰除去は重労働という、イ

降灰集めスポーツに

生ら廻へ160人
 ラクビーの楽しさや秘

(上山智子)

地域プロジェクト組成の3要素



地域プロジェクト組成の3要素

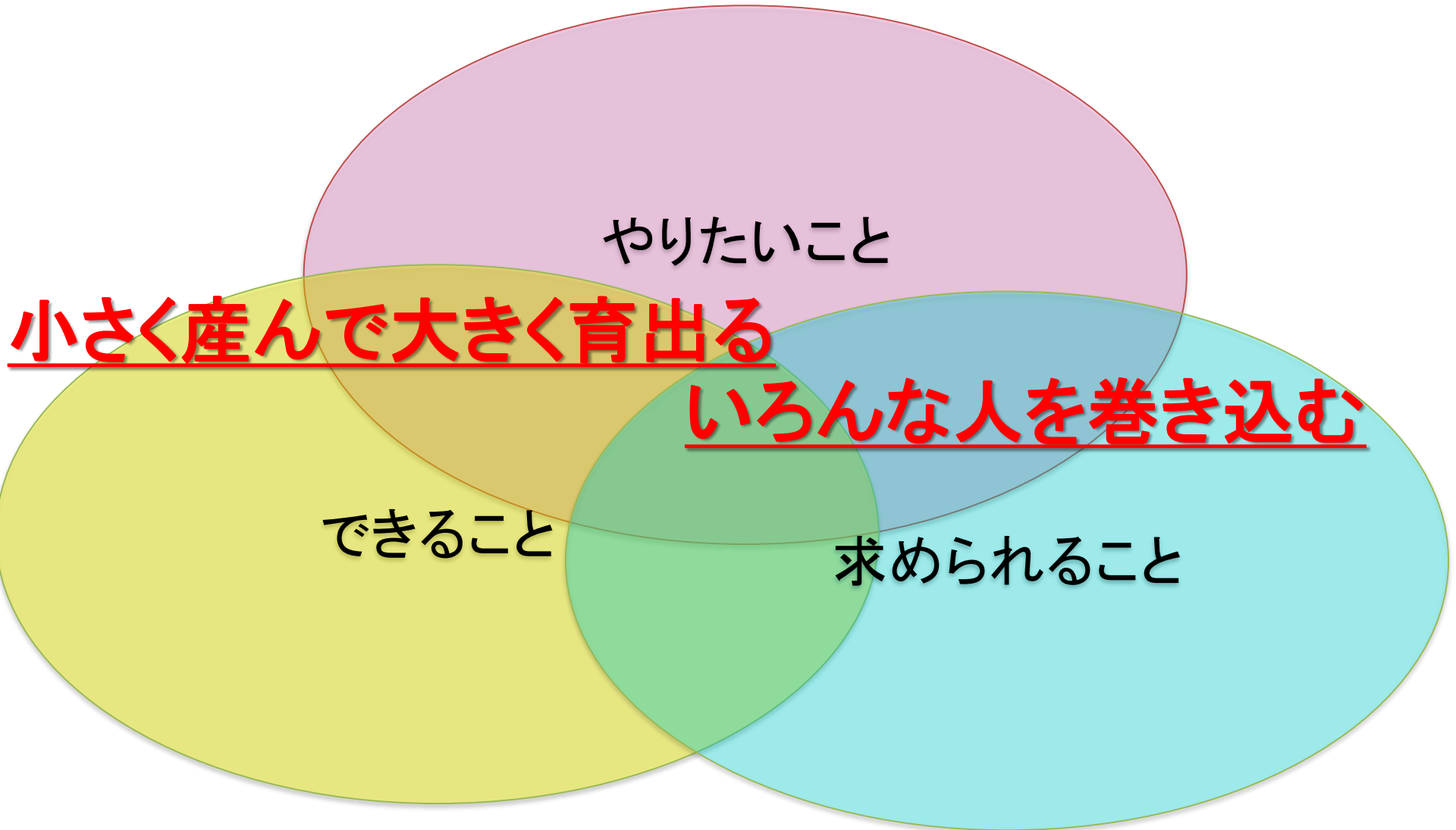
やりたいこと

小さく産んで大きく育出る

いろいろな人を巻き込む

できること

求められること

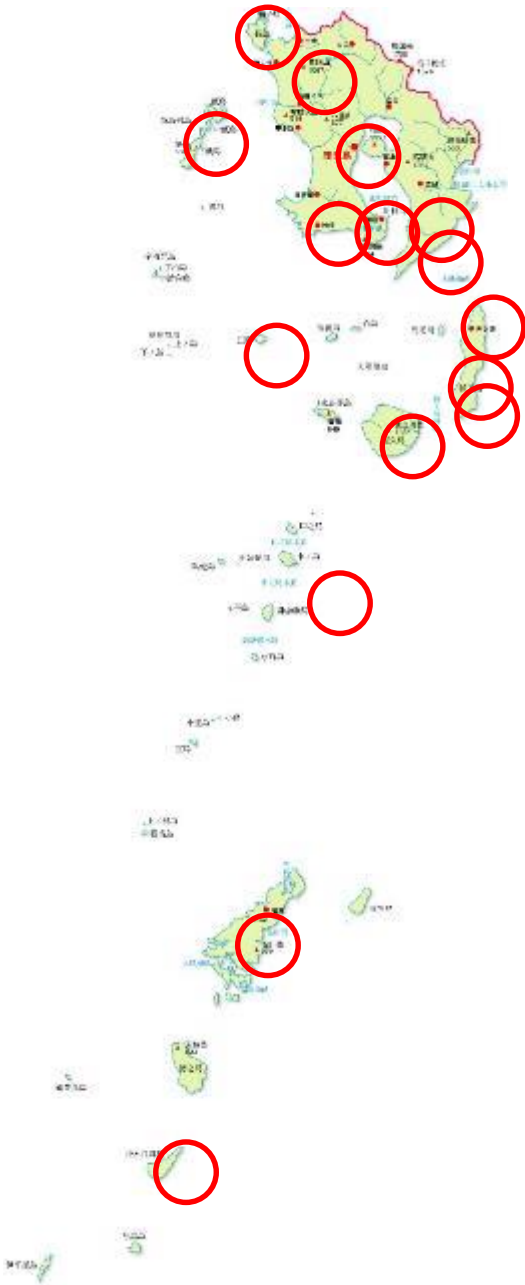


日置市東市来町 湯之元温泉での動き

地域の中で「やりたい」・「できる」・
「求められてる」を出し合う場づくり

鹿児島県内 南北600km

そのうち、16か所にて
地域コミュニティの再生
自治公民館の支援
商店街の再生など
地域づくり政策策定のお手伝いをさせていただきます。



日置市東市来町 湯之元温泉での動き

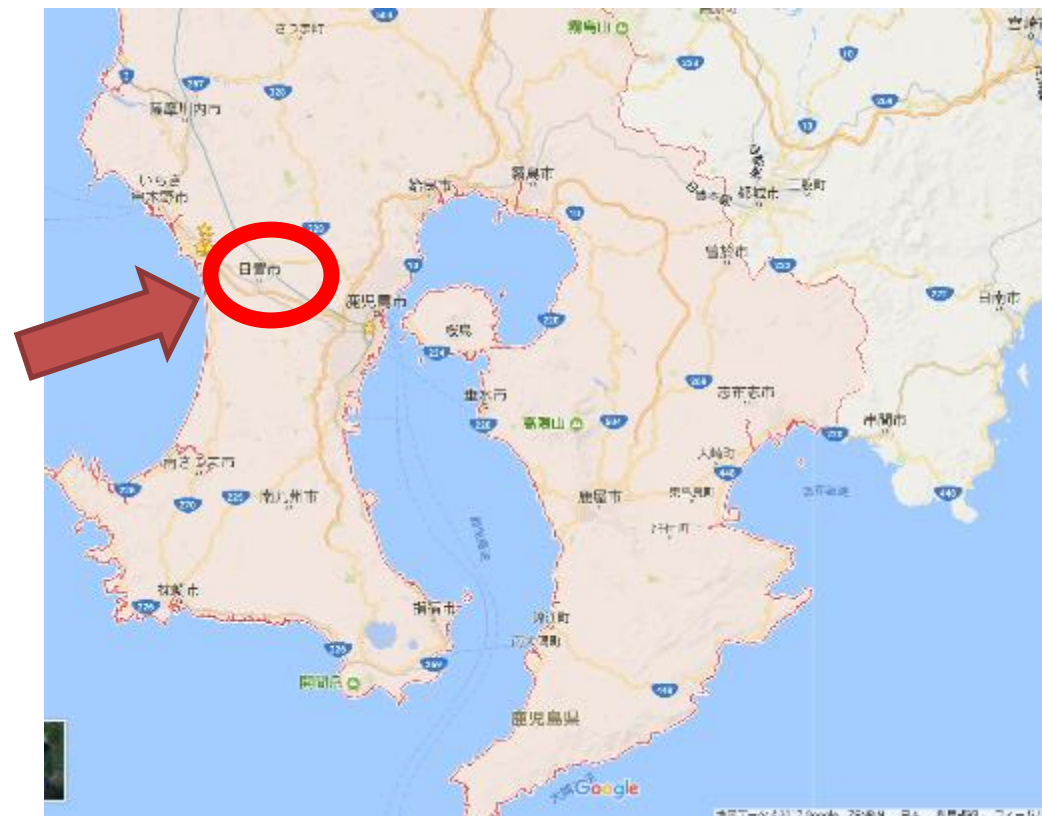
地域の中で「やりたい」・「できる」・
「求められてる」を出し合う場づくり

2014年～（4年前から）

日置市東市来町湯之元

人口50,000人の地方都市(日置市)の中の、人口10,000人の小さな町(東市来町)の中心部に位置する温泉街人口4,000人

鹿児島市から車で40分
東シナ海に面した海沿いの街。



日置市東市来町 湯之元温泉での動き

湯田地区公民館
(住民4,000人 1700世帯)

...公民館活動になかなか
関わってもらえない(特に若い人)

公民館活動に参加してほしい
ではなく、
「湯田地区の未来を一緒につくろうよ！」と声かけ実施

きっかけは湯之元駅前の再開発



再開発を機に、町の未来を話し合う



最初の議論...

ホテルが立地しないかな...

スーパーが欲しいな...

駅の次の区画整理を急いでほしいな...

...これって、自分達でできること？

視点の転換

ホテルが立地したい！と思える雰囲気

スーパーを営業したい！と思える環境

駅の次の区画整理を急がなきゃ！と感じる可能性

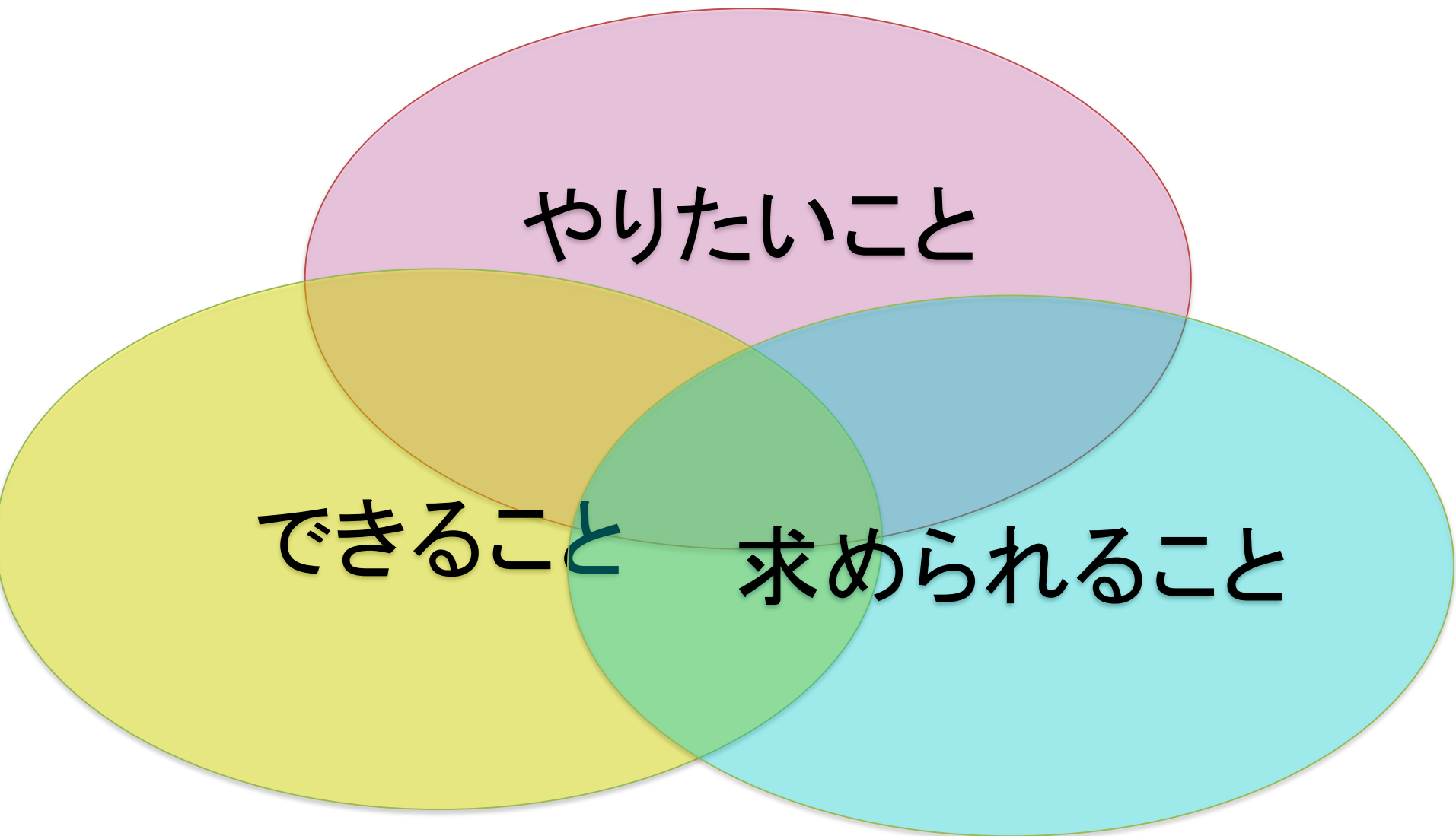
...自分たちで、まずはじめよう。

外の人がこの街に投資してもよいかたと
感じられる文化をつくろう

湯之元未来80人会議



Ten-Lab式 プロジェクト組成



やりたい

お茶を飲みながら緩やかに
語り合える場所がほしいなあ

温泉の2階にはそれぞれ
立派な休憩室があるよね！

求められる

出来る

じゃあ、朝風呂の時間を合わせて
語り合う場をつくろうか！！

湯之元温泉朝風呂会議



やりたい

お祭りを盛り上げる名物がほしいよね

あ、俺、ゆるキャラを創りたいとおもってたんだ！

求められる

出来る

温泉の象徴＝湯桶をつかったキャラクター、つくってみよう！

背巾流し妖怪 サンスケ



やりたい

子供たちが温泉に入らなくなったんだよ・・・

子供たちは温泉の楽しみ方を求められる知らないだけなんじゃないかな？

出来る

じゃあ、子供に温泉の魅力を伝える場をつくろうよ！

湯田小学校 背中流し隊



【湯之元未来80人会議】 1年間の取組で生まれたもの



朝風呂会議
毎週土曜日
平均参加者: 6名
延べ参加者数: 約100名



フェイスブックページ
いいね! 225件



新聞掲載(南日本新聞)
→湯之元温泉三助(KYTも!)
→湯之元温泉の日(MBCラジオも!)



背中流し妖怪
湯之元サンスケ
(と、赤ふんどの付き人)



湯田小学校連携企画
背中流し隊「湯之元温泉三助」



湯之元温泉地図
(最新版)

【湯之元未来80人会議】2年目の取組で生まれたもの (ヤングチーム)



ゆのもとホームページ完成

移住体験飲み会ツアー実施

湯之元映画館



湯之元**非公式**研究所 ゆのラボ



【ユノモトレイン】



【ユノモトレイン】



**若いやつばっかいに
負けちゃおられん・・・**

**町の先輩方が
動き出しました。**

【湯之元未来80人会議】2年目の取組で生まれたもの (シニアチーム)



シンボルの神社に住民みんなでお祭りを

お祭りにふるまう料理「湯権現鍋」完成







やりたいこと・できることが増える

やりたいこと・できることが増える



地域の中で求められる人材になる

やりたいこと・できることが増える



地域の中で求められる人材になる

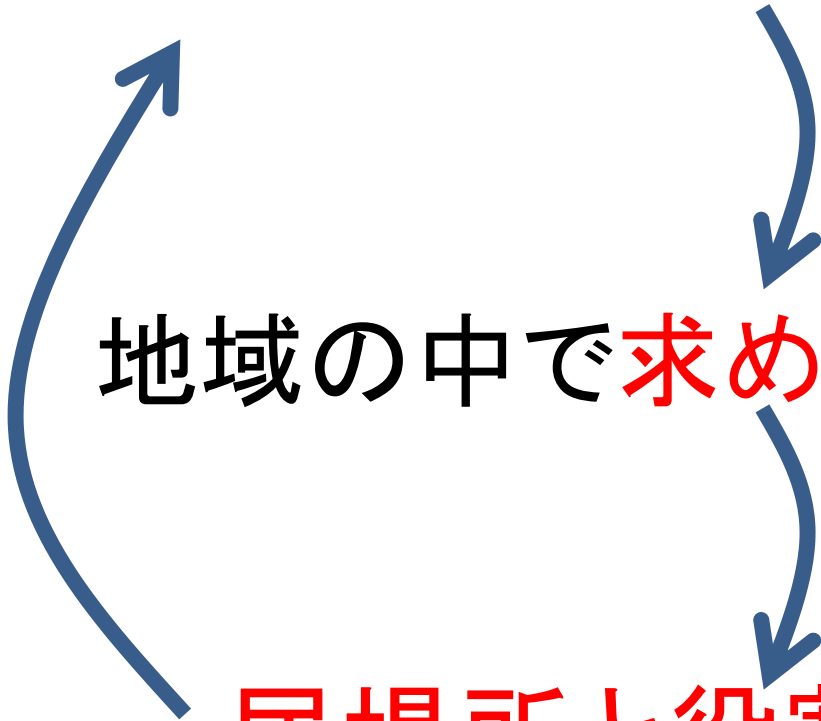


居場所と役割が生まれる

やりたいこと・できることが増える

地域の中で求められる人材になる

居場所と役割が生まれる



播磨信吾(はりま しんご)さん

湯之元生まれ 湯之元育ち

地元商店の4代目だが、店をつぐ気はなく、鹿児島県内の他の町に在住

※エアギター 日本ランク6位(2013年) 世界大会出場経験者



やりたい

エアギターの魅力を
地域の人に伝えたい

町に多くの人が集まる
きっかけを作ってほしい

求められる

出来る

じゃあ、全国大会を誘致
しよう！

日本エアギター一選手権2016

西日本地区予選を鹿児島県湯之元温泉に誘致



そして、昨年

ついに……

全国大会誘致成功！



テレビ4局 新聞2紙 ほぼ毎週の取材・掲載

全国から約300人の来場者



この街でもやればできるということが分かった
(30代 電器店経営)



湯之元の旅館が満室になるなんて、何年振りだろう
(50代女性 旅館経営者)



また来年の開催まで元気で過ごそうと思う
(80代男性)

組織の持続可能性をたかめる手法：

地域の皆さんがやりたいことを語り合える場をつくる

自分ができることから、小さく始める

何から初めていいかわからない場合は、
後押しする最初の応援者になる。

世の中の「無意味なワークショップ」

- 決まったことがまったく実行されない
- 議論されるのは正しいことだが、誰の胸も打たない
- その場は盛り上がるが、その結論を誰が実行するのかが宙に浮いたままである

...この問題はなぜ発生するのか？

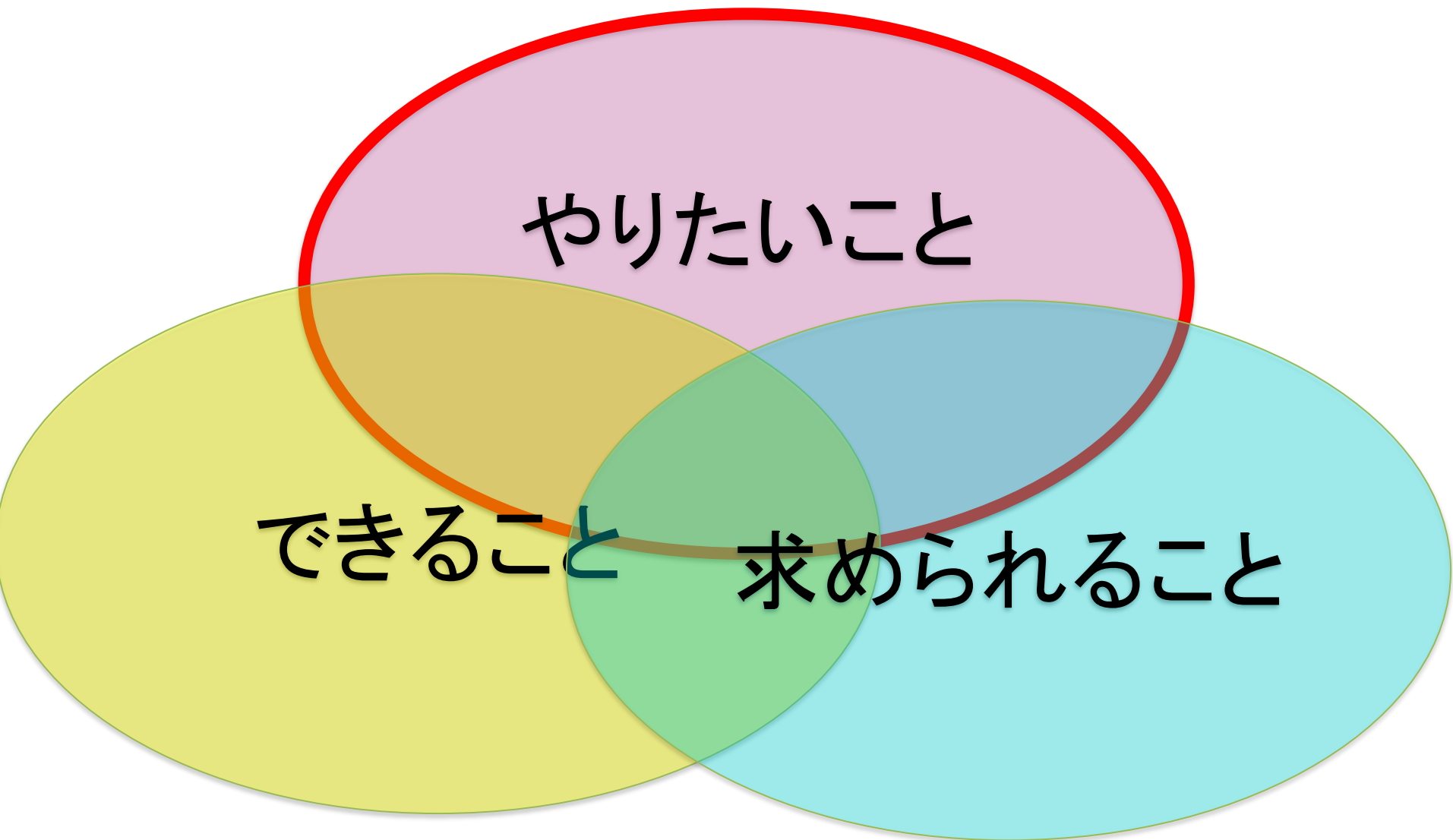
世の中の「無意味なワークショップ」

- 決まったことがまったく実行されない
- 議論されるのは正しいことだが、誰の胸も打たない
- その場は盛り上がるが、その結論を誰が実行するのかが宙に浮いたままである

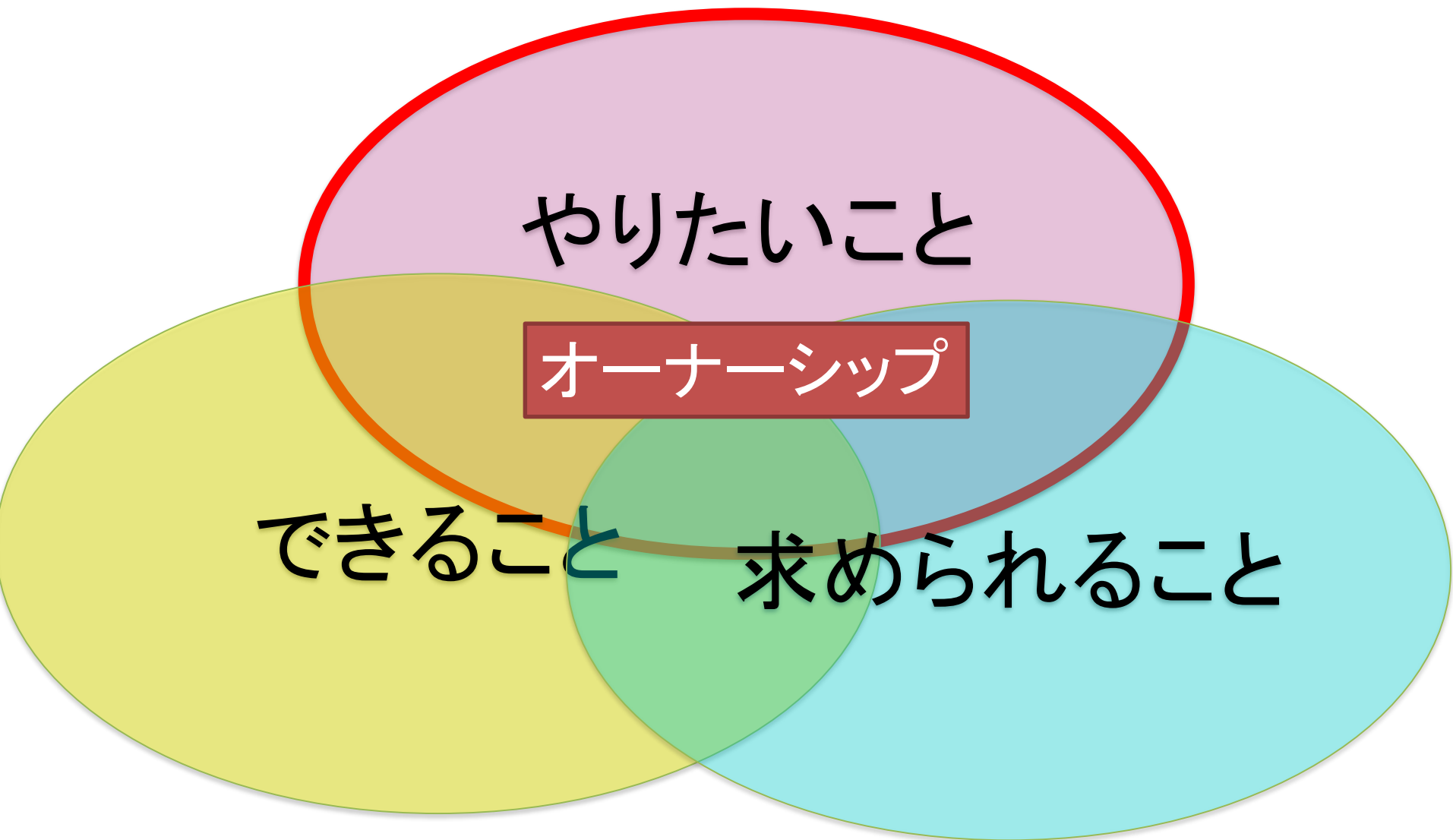
...この問題はなぜ発生するのか？

→オーナーシップ(当事者)の不在

Ten-Lab式 プロジェクト組成



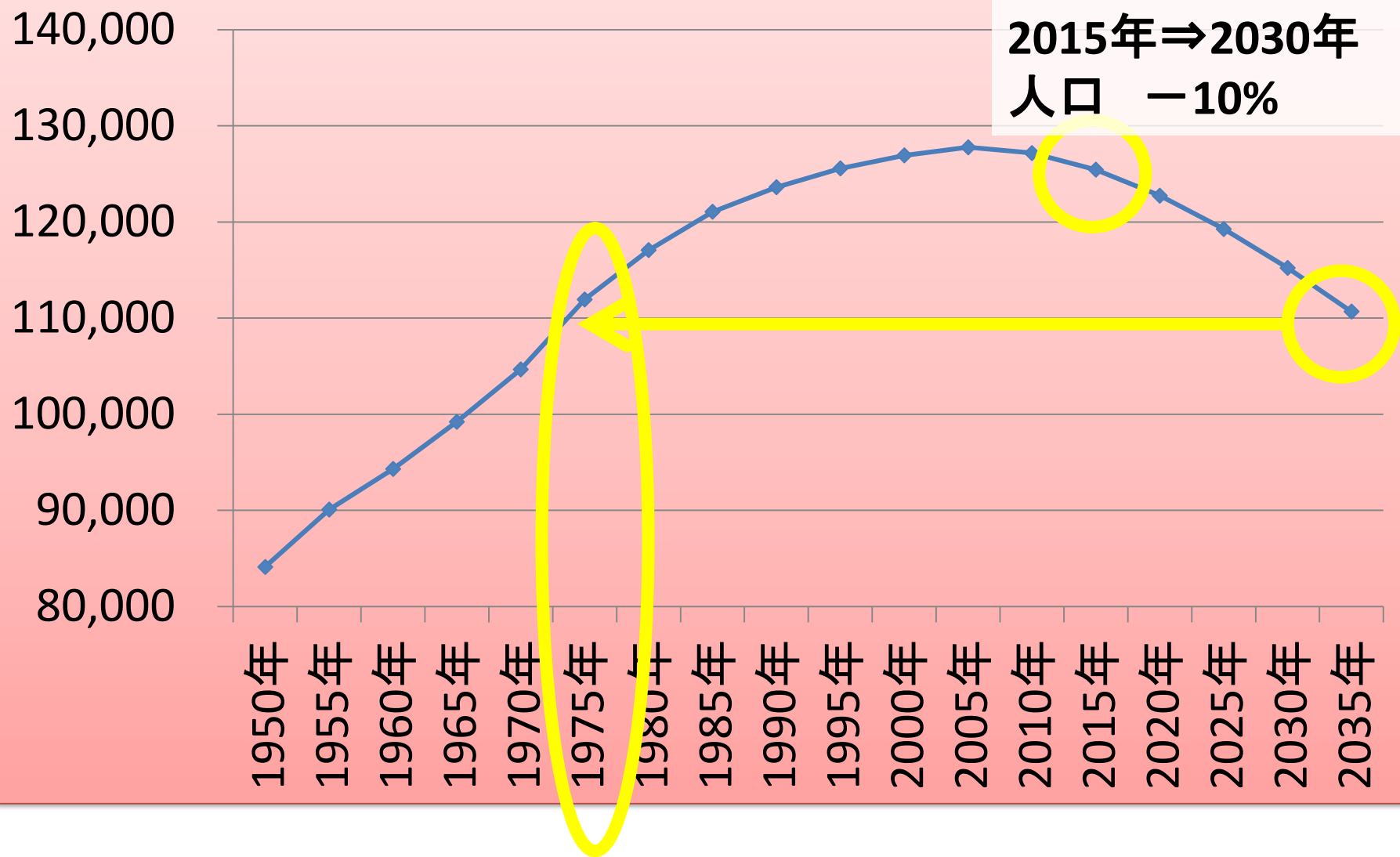
Ten-Lab式 プロジェクト組成



・・・というようなことを
実際の組織経営に活かしてみると

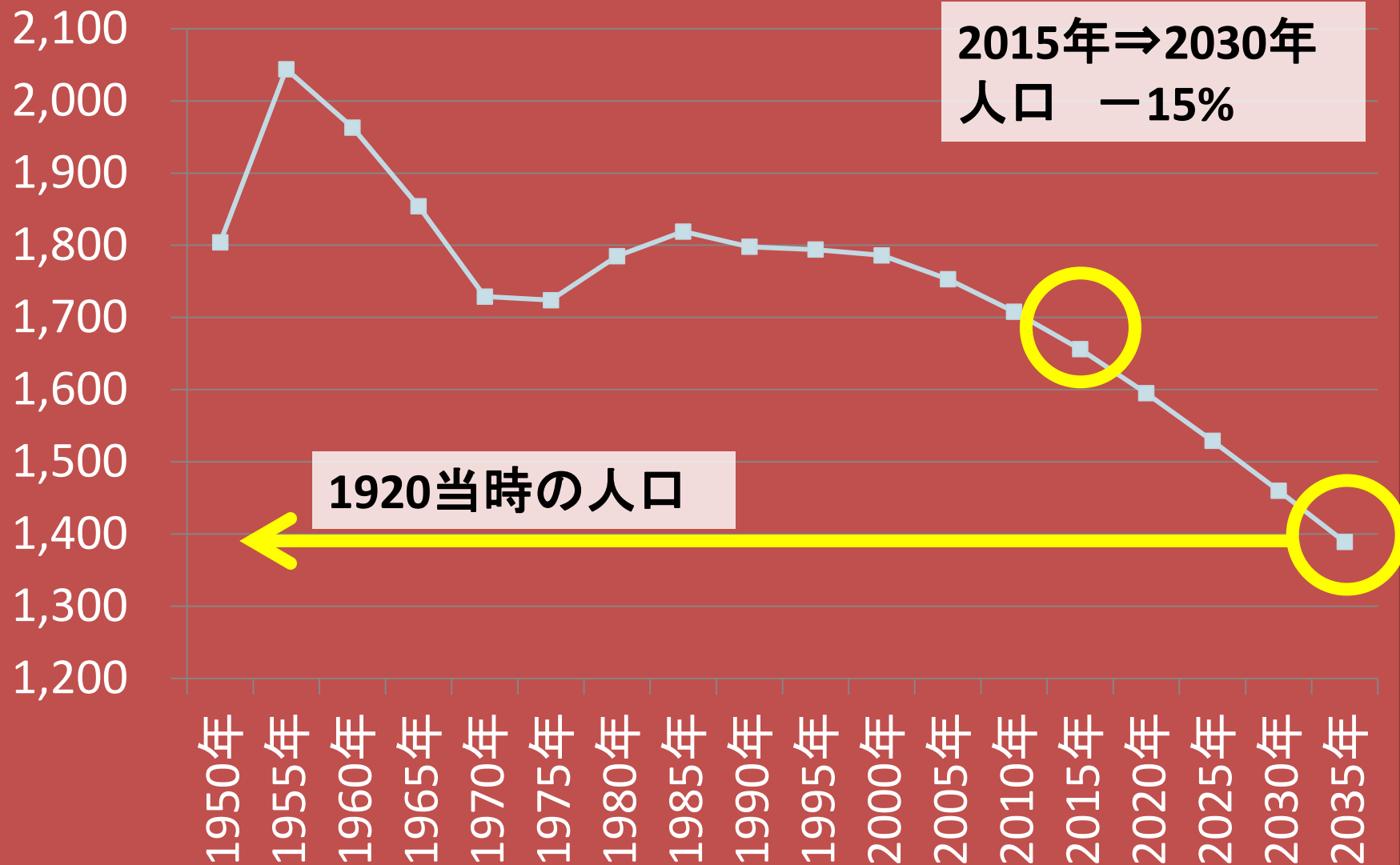
街の未来

日本総人口 推移

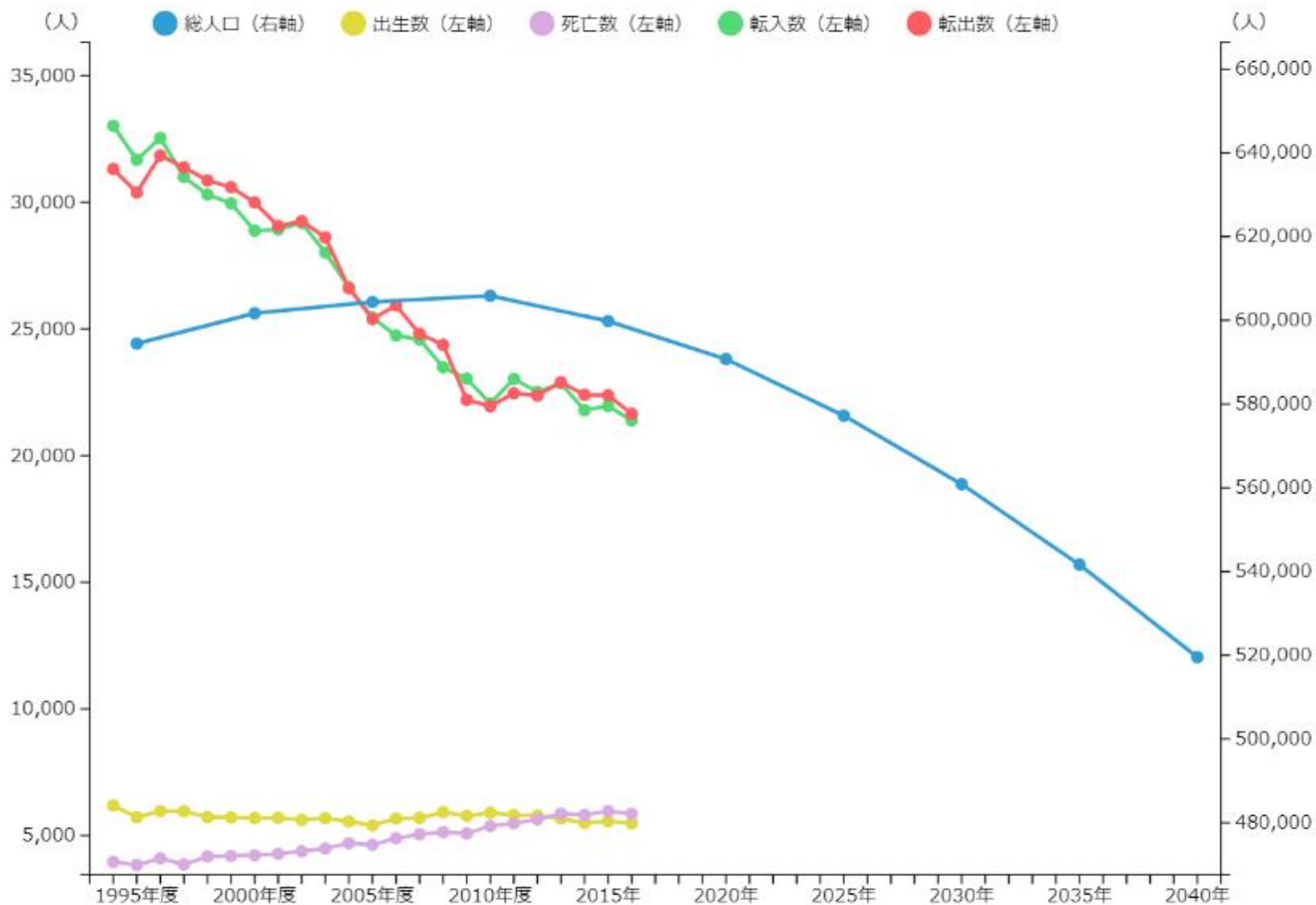


街の未来

鹿児島県 人口推移



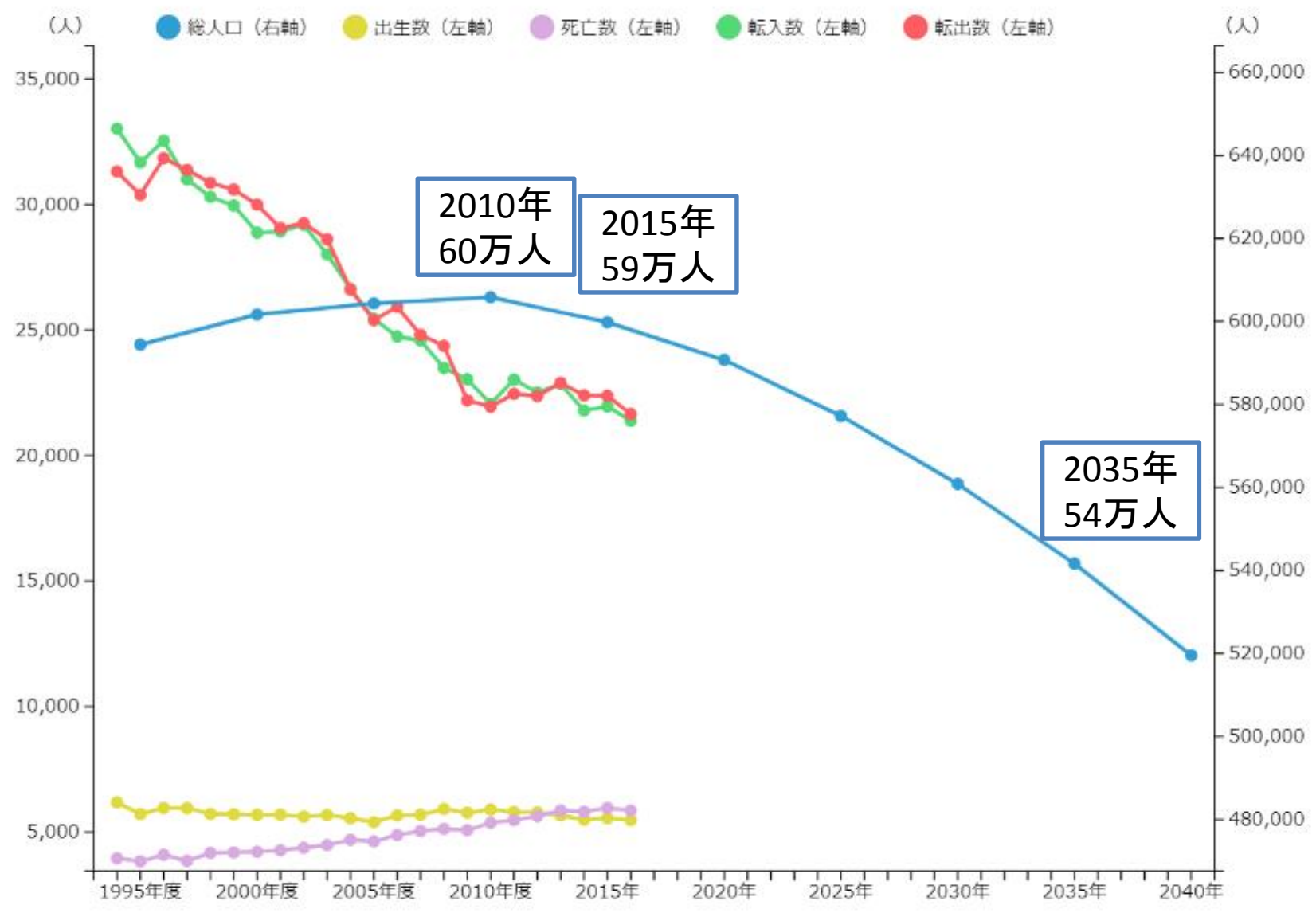
【鹿児島市】出生数・死亡数 / 転入数・転出数



← 実績値 推計値 →

【鹿児島市】

出生数・死亡数 / 転入数・転出数



2010年
60万人

2015年
59万人

2035年
54万人

実績値 推計値

人口減社会を迎えるにあたって

●労働力の確保が難しい状況

➡採用ができずに倒産する時代の到来
(人を大切にしている組織が生き残る)

●税収の減少・・・行政の関与の限界

➡公的分野の役割再構成
(地域総合力の時代)

組織論に関する最近の潮流

【社会の醸成変化】

労働力の不足...採用できずに倒産する時代

➡ 圧倒的な報酬を得られるポジション

➡ 1人1人がチームや社会に対しての貢献を感じられるポジション

.....どちらを選びますか？
どちらを目指しますか？

マネジメントの変遷

◎官僚型組織...上位下達

➡固定の作業を効率よく進める

◎目標達成型組織...改善と改革

➡目標達成のためにチームを管理する

◎多様な価値観包含型組織...共生思想

➡合意形成による協働のスタイル

...その次は？

新しいマネジメントの視点



◎管理から信頼へ

◎指示から対話へ

➡社員一人一人が持つ「貢献」や「成長」の意欲を最大化する。会社はコミュニケーションと挑戦の舞台を整えることに集中する。

例：サウスウエスト航空

...マニュアル不在の客室乗務

Ten-Labで試していること

① 専業禁止

➡社員は全員、自分が何で社会から報酬を得るのかを考える意識を持つ。

② 出勤という概念の放棄

➡毎週1回の定例ミーティングのみを義務化。
そこでも業務管理ではなく、それぞれが今感じている気がかりを共有する舞台をつくるのみ。

※スタッフの管理には限界があると早々に諦めて、信頼関係の構築と、すぐに相談できる関係をつくることに集中して取り組んでいます。

Ten-Labの運営体制



パートナー
約60名

ディレクター
3名

理事
事務局長
3名

雇用スタッフ: 0名

※全員が案件単位の業務委託契約

※フリーランスの集合体でありながら
ミッションへの強い共感を持つ
チームとして作用。

行政組織、民間企業との業務を
年間20~30件ほど運用中。

もちろん「報酬」も大切ですが、
それよりも
「理念と価値観を共有したチーム」
をつくること。

Ten-Labの意思決定基準

- ◎それは鹿児島島に対話と挑戦の文化を生む一歩になっているか
- ◎たとえ大きく儲からなくても、それをしたいと強く思えるか
- ◎今年で人生が終わるとしても、私はこの仕事をやりたいと強く思えるか

ゴリゴリの民間企業での 挑戦事例

株式会社ecommit での取り組み

企業理念

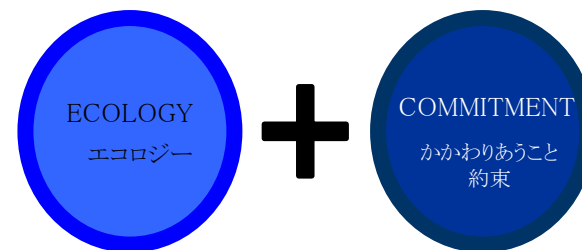
環境ビジネスに革新を、お客様に感動を、
そしてみんなが夢を叶える場所であり続ける。

私たちecommitは、一緒に働く家族（社員）の幸せと
本当に世の中の役に立つ環境ビジネスを追及します。

商号	株式会社ecommit
所在地	〒899-1921鹿児島県薩摩川内市水引町2803
設立	平成19年8月17日
資本金	10,000,000円
営業所	<ul style="list-style-type: none">・本社（鹿児島営業所）・本社管理部・営業部・北関東営業所・東京営業所・関西営業所・福岡営業所・串木野小売店舗
従業員数	105名



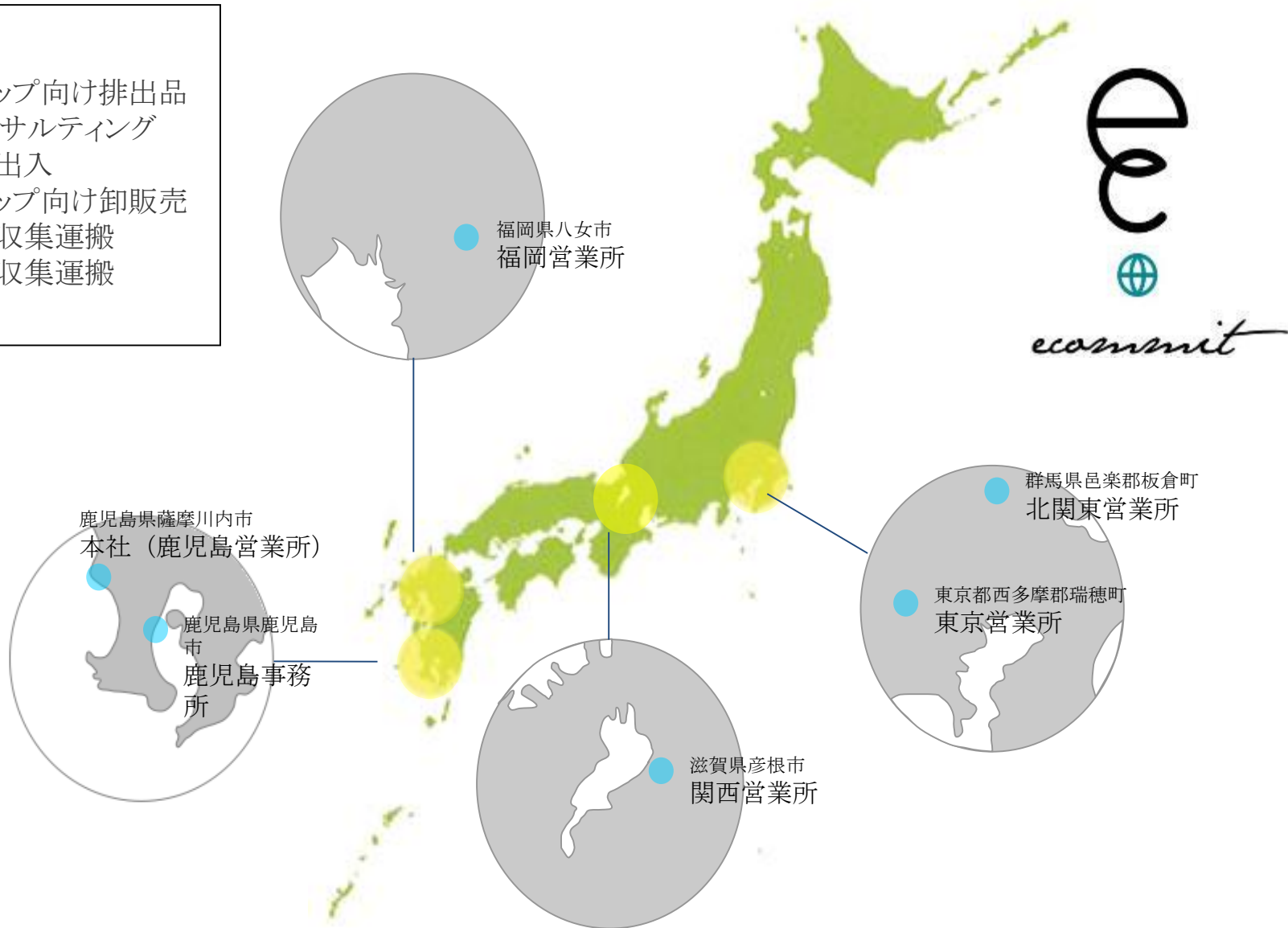
ecommit

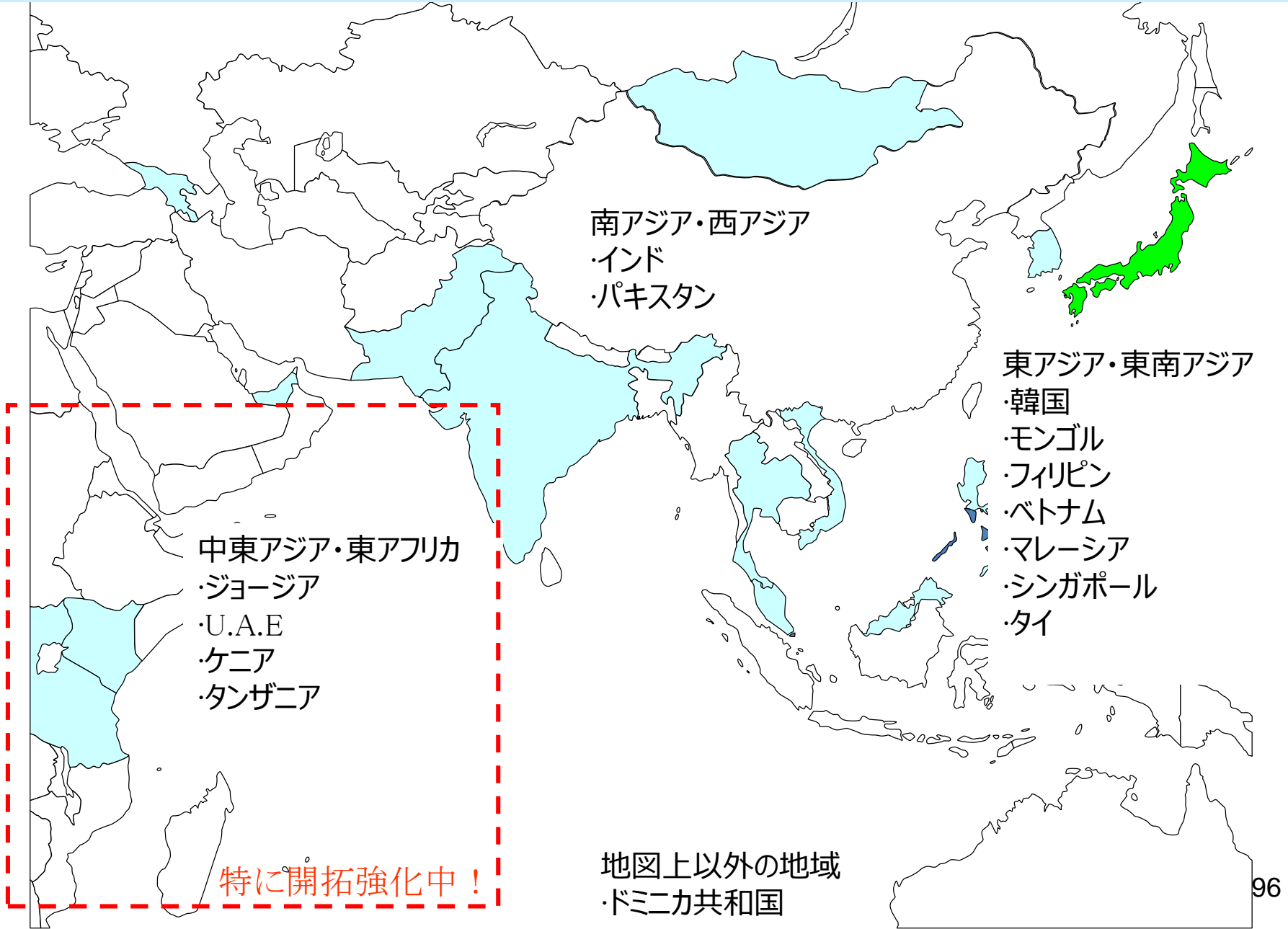


会社概要

【事業内容】

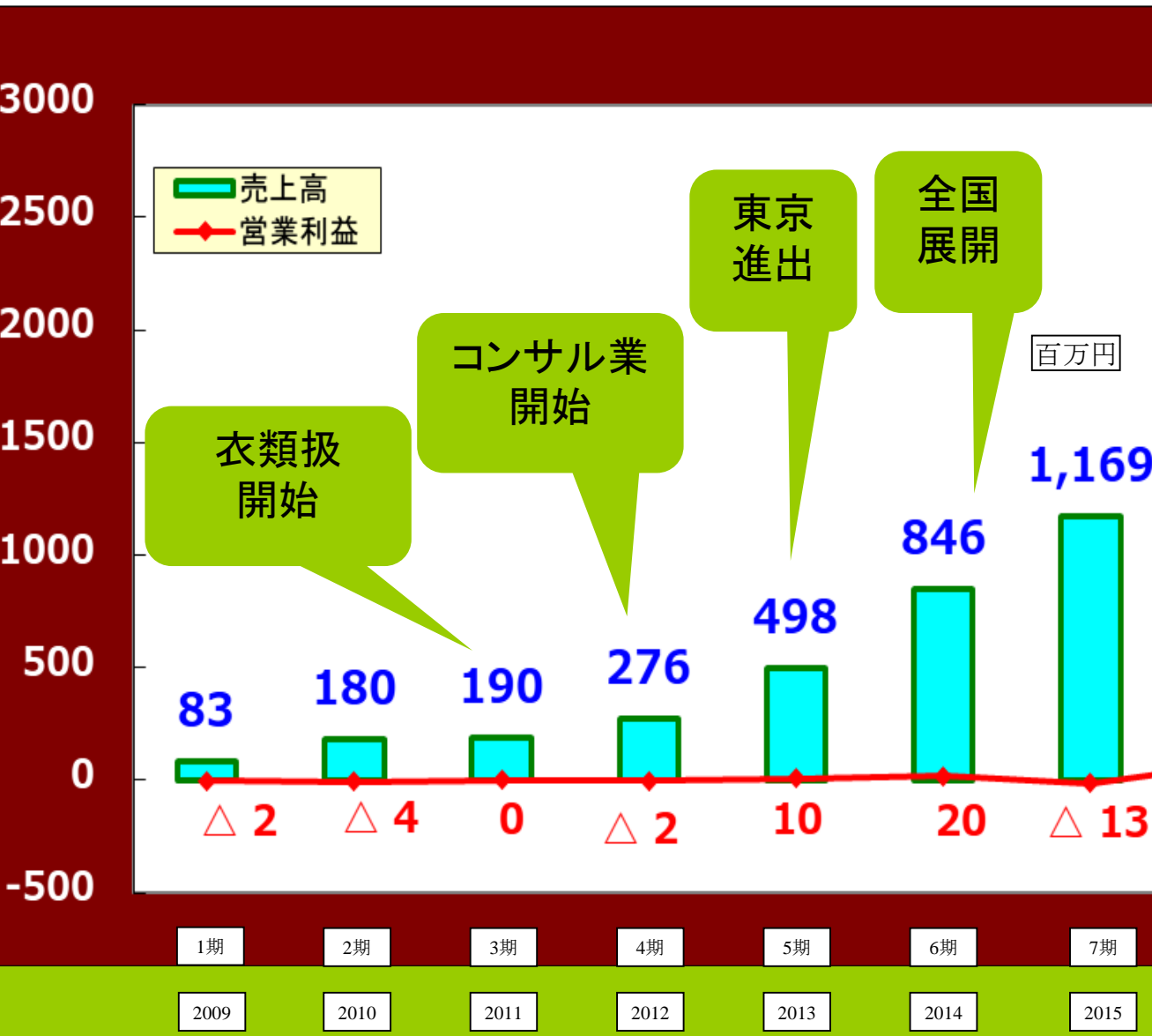
- ・リユースショップ向け排出品一元管理コンサルティング
- ・中古品の輸出入
- ・リユースショップ向け卸販売
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・一般廃棄物収集運搬





おしごと④ 企業の社会的事業コンサルティング

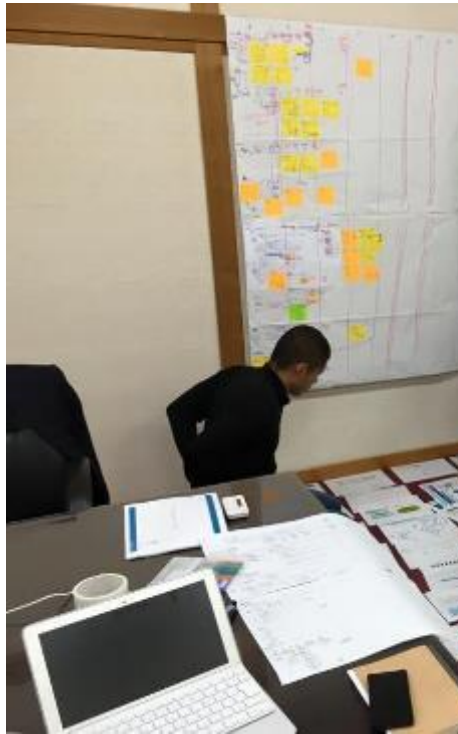
当社の売上推移と計画



【主に挑戦していること】

- 1) 社員の副業推奨
 ➡ 挑戦したいことを社内で認める
- 2) ミーティングの簡略化
 ➡ 報告の場は撤廃
 相談の場へ
 「どうなってる？」を
 「気がかりはない？」へ
- 3) 全社合宿の開催
 ➡ 年2回、全社で交流
 「社内未来会議」
- 4) 社会人向けの体験入社イベント
 ➡ ノウハウも全て公開
 入社希望せずとも参加可能。

社内会議の風景



多様な主体と共に
未来を描く
3つの極意

地域で何か始めるときの困りごと

- ①「あいつがやるならおれはやらない」な人
- ②言い出しっぺが責任をとらねば...の発想
- ③イベントを初めても、一回限りで終わる
- ④活動経費が確保できない
- ⑤参加者が集まらない
- ⑥地域の先輩たちに足を引っ張られる

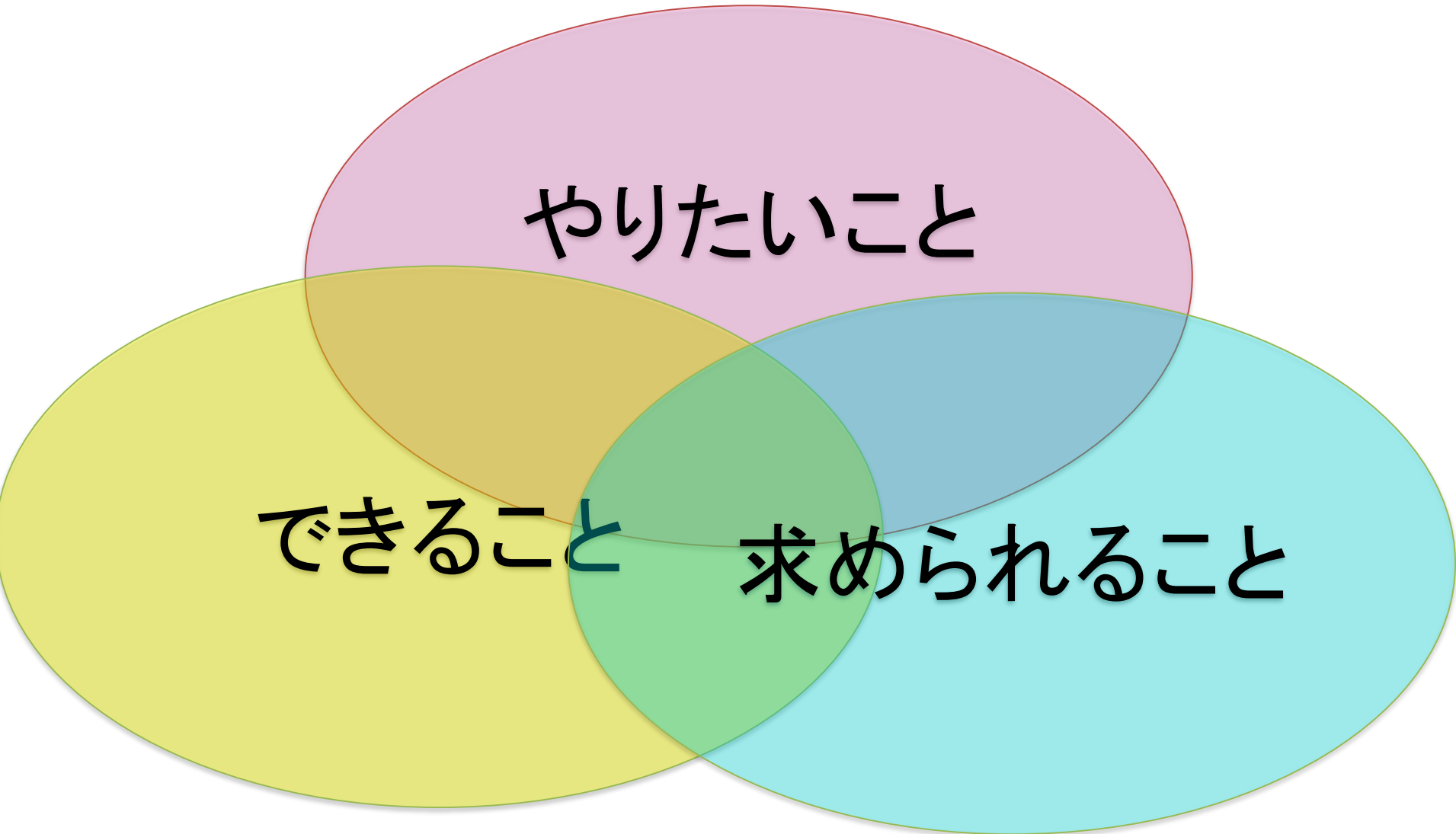
・・・などなど

解決策→

解決策→

小さく始める

コミュニティデザイン 3つの柱



みんなの

「やりたい」

「できる」

「求められる」

を合わせてみる

でも、
2人以上の人の
意見や考えを共有
していくのって、
難しいですね。。。。

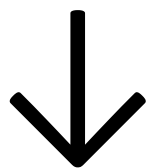
特效薬→

解決策→

やわらか発言

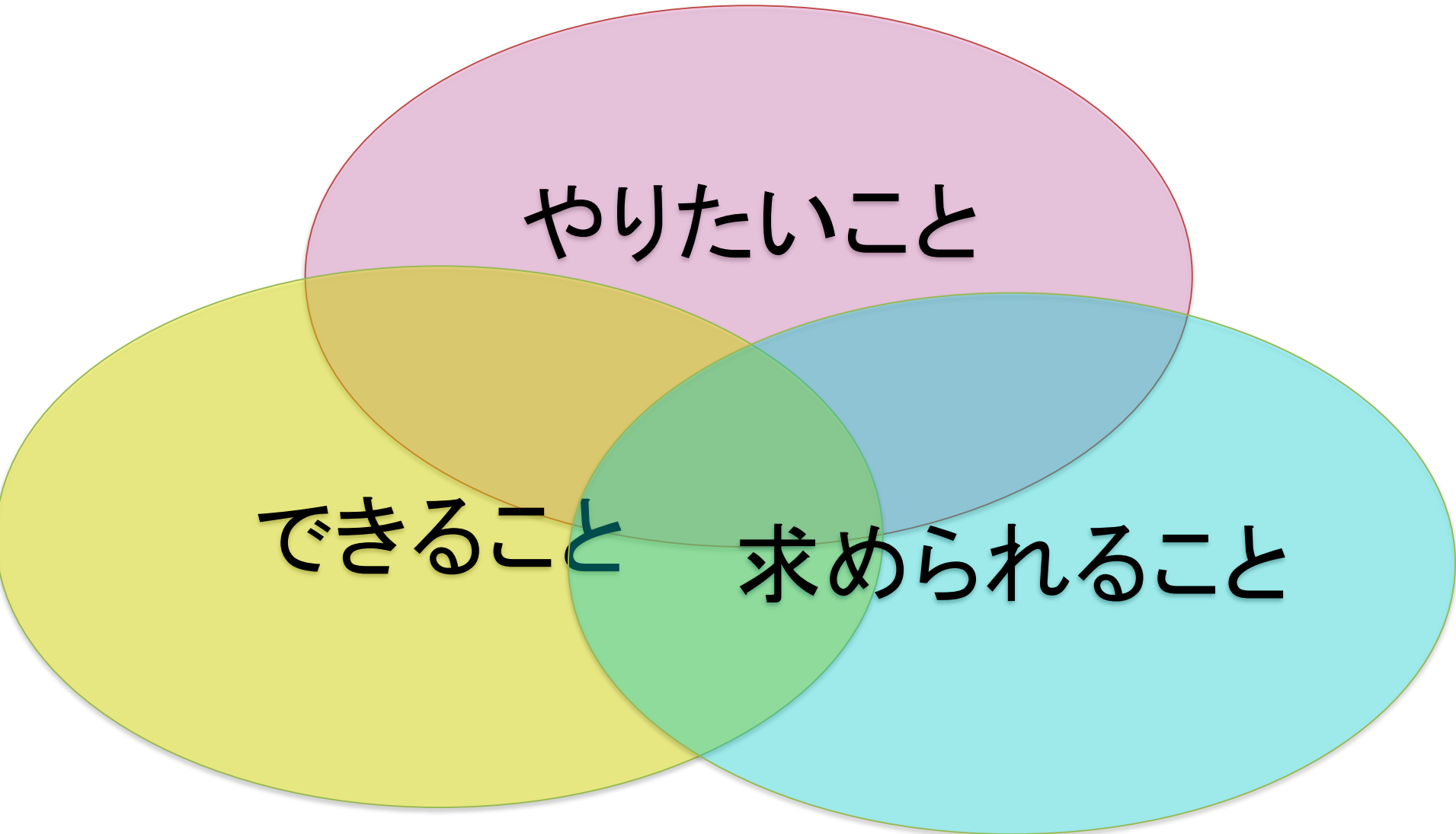
× そんなことできる
訳ないじゃん！
馬鹿野郎！！

× そんなことできる
訳ないじゃん！
馬鹿野郎！！



◎ ちょっと難しいと
思うけど、どうかな？

コミュニティデザイン 3つの柱



でも、自分が
何をやりたいかなんて
最初はよくわからない
ですよ？

解決策→

やりたい人を

応援する！

3つのポイント

1. **やりたい！のエネルギーを最大に使う（やりたいことがない人は応援にまわる！）**
2. **やわらか発言**
3. **小さく初めて、大きく育てる**

かごしまSwitch

未来研究室の進め方

未来づくりのプロセス

1. 自分を知る【1回・2回】
2. 仲間を知る【1回・2回】
3. 仕組みを学ぶ【2回・3回】
4. 状況を把握する【3回・4回】
5. 取り組みを描く【4回・5回】
6. やってみる【5回～】
7. 見えてきたものを共有する【6回】